

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 11月 11日

公表:令和 3年 1月 26日

事業所名 みかんのプール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		適切に行われている。	
	2	職員の配置数は適切である	4		適切に行われている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		ゲージを設置しているため完全なバリアフリーではないが、利用者の特性に応じて配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		適時、ミーティングを実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者向け評価を配布し、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページで開示している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		コンプライアンス委員会を設置し、その中で第三者の外部評価を行い、業務改善に努めている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		研修委員会を設置。社内・社外研修を企画し職員の資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		半年に一度、計画の見直し、アセスメントを適切に行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		状況に応じて使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		適切に対応できている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		4つのプログラムを実施し、固定しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		プログラムを決めて取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		毎月活動計画書を作成し、個々の状況に応じた計画書を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		申し送りを行い、支援や役割について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		申し送りを行い、振り返り、情報共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		日々の活動記録をとり、支援につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		半年に一度、モニタリングを行い支援につなげている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4		個々の状況に応じた支援を活動の中で行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		主に責任者が参加をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校や保護者様と連携を取り、予定表・下校時刻表の確認。変更等の連絡も適切に行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		在籍はないが、医療的なアセスメントなどの書式など必要になった際の準備も今後検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		保護者からの情報収集は行っているが、今後検討し対応考えていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		積極的に研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		積極的に参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や電話連絡で話す機会を設け、共通理解に努めている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		保護者からの情報収集は行っているが、今後検討し対応考えていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		保護者様から要望があった場合や気になる児童への保護者様には働きかけている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	年1回の開催をしている。	コロナの影響で開催できるかは未定であるが、落ち着いた状況になれば検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	随時対応・対策をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月、活動予定表を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	4		個人情報や会議等での報告が外部に漏れないよう職員には周知している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		送迎時や電話連絡で話すようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		今後検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	適切に対応している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止委員会を設置して、適宜、研修に取り組んでいる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		個別支援計画書に記載して、保護者様には同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		アレルギー調査を実施している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		作成し、会議等で共有している。	